

平成 19 年度（社）日本地すべり学会事業経過報告

1. 総務部

(1) 行事

- ・ 通常総会を開催

日時：平成 19 年 5 月 11 日（金）午前 10 時～10 時 40 分

場所：東京都 東京大学弥生講堂

- ・ 理事会を開催

第 1 回：8 月 28 日（火） 三重県四日市市文化会館

第 2 回：11 月 30 日（金） 学士会分館

第 3 回：3 月 7 日（金） 学士会分館

第 4 回：4 月 25 日（金） 学士会分館

- ・ 幹事会を開催

第 1 回：6 月 14 日（木） 学士会分館

第 2 回：8 月 28 日（火） 三重県四日市市文化会館

第 3 回：11 月 30 日（金） 学士会分館

第 4 回：3 月 7 日（金） 学士会分館

(2) 庶務委員会

- ・ 各部・各支部間の調整

- ・ 議事資料および議事録の作成

- ・ 平成 20・21 年度の役員選挙を実施

(3) 財政委員会

- ・ 平成 20 年度予算書（案）および平成 19 年度決算書を作成

(4) 広報委員会

- ・ H P 内容の更新および情報の充実と拡大

(5) 法人対応委員会

- ・ 公益法人法の改正に伴う学会の組織及び社会貢献活動に関する検討

2. 事業計画部

(1) 行事

平成 19 年度総会・シンポジウムの開催

日 時：平成 19 年 5 月 11 日（金）午前 10 時 00 分～午後 17 時 00 分

会 場：東京都 東京大学弥生講堂一条ホール
テーマ：活動中の地すべり変位計測における諸問題
意見交換会：学士会分館

第 46 回研究発表会及び現地見学会（三重）の開催

・ 県民講演会

日 時：平成 19 年 8 月 28 日（火）
会 場：三重県四日市市 四日市文化会館

・ 研究発表会

日 時：平成 19 年 8 月 29 日（水）～8 月 30 日（木）
会 場：三重県四日市市 四日市文化会館

・ 現地見学会

日 時：平成 19 年 8 月 31 日（金）
見学地： コース：宮川村災害コース, コース：鈴鹿山麓コース

部会の開催

平成 19 年 4 月 20 日、6 月 6 日、7 月 27 日、8 月 30 日、12 月 14 日、
平成 20 年 2 月 22 日

(2) 研究発表会の準備・実施

- ・ 大会講演集の作成
- ・ 開催県（地）に於ける準備及び部会，幹事会，実行委員会出席
- ・ 研究発表会の実行委員会と大会運営

(3) シンポジウムの準備・実施

- ・ シンポジウムのテ - マの決定，講演集の作成
- ・ シンポジウムの大会運営

(4) 若手ワークショップ助成の実施

- ・ 1 件

3 . 研究調査部

(1) 研究委員会

平成 19 年度助成金対象研究委員会は以下の ~ の 2 委員会で，新規の委員会は平成 20 年 2 月から募集した。

なお，の中越地震特別研究委員会では昨年発行した地形・地質編の報告書の続編として，地盤工学編を発行した。

新潟県中越地震斜面災害特別研究委員会 : 代表 山岸宏光

..... 3 年目

発展途上国における地すべり災害の危険度軽減研究委員会

：代表 丸井英明・・・・・・・・・・ 2年目

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 新規

(2) 受託業務

平成19年度に実施した受託業務はありません。当初予定していたパキスタン地震災害に対応した業務は、JICAとの調整がつかず受託に至らなかった。

(3) 緊急災害調査

平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震に伴う地すべり・斜面崩壊について、日本地すべり学会新潟支部の会員を調査団（団長：早川嘉一新潟支部長）とする緊急調査を実施しました。調査期間は7月17日～21日で、調査結果は緊急調査報告として学会ホームページに掲載した他、日本地すべり学会誌 Vol.44, No.3（平成19年9月号）に掲載されました。

(4) 研究調査部会

研究調査部会を平成19年8月28日に三重県四日市市文化会館 第1会議室で開催し、平成18年度の活動報告と平成19年度の活動方針および研究調査部の課題について検討を行なった。

4. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

編集委員会の開催（12回）

日本地すべり学会誌第44巻の発刊（6回）

- ・特集号の企画：44(2)「地すべり地・山地斜面における地下水の挙動と実態」
44(4)「断層と地すべり」
44(6)「活動中の地すべり変位計測」
- ・講座：「現場で役に立つ地すべり工学」
「安全率を考える」開始
- ・シリーズ：「目で見るすべり面」
「空から見る日本の地すべり地形」開始
- ・学会賞受賞者紹介、フォーラム「研究室報告」、刊行物案内、
コラム（談話室）の開設

日本地すべり学会電子ジャーナル(J-stage)開始 8月～

5. 国際部

- (1) 国際会議：アジア太平洋地域におけるランドスライドハザードとその管理
 - ・2008年11月開催予定
 - 2007年5月 First Circular 作成・発行、HP立ち上げ
 - 2007年12月25日 Second Circular 発行
 - 2008年2月28日 発表参加申込(Abstract)
- (2) 国際交流活動
 - ・ICL第6回年次報告会出席(パリ、11月開催)会長が出席。
- (3) 国内情報広報活動
 - 日本地すべり学会誌「ニュース/国際部」へのニュースの掲載(Vol.44, No.6)

6. 表彰委員会

- (1) 学会賞授賞(論文賞・谷口賞・研究奨励賞)の審査
 - <推薦締め切り：平成19年5月31日(木)>
 - 第1回(平成19年2月27日) 第2回(6月7日) 第3回(7月3日)
 - 会長への報告(8月20日)
- (2) 授賞式 日時：平成19年8月29日(水) 場所：三重県四日市市文化会館
 - ・論文賞
 - 受賞者：正会員 松浦純生 [(独)森林総合研究所]
 - 授賞論文：「多雪地帯における第三紀層の再活動型地すべりの動態に関する一連の研究」
 - ・谷口賞
 - 受賞者：正会員 竹内睦雄 [前(独)森林総合研究所]
 - 授賞論文：「長年にわたる地すべり防止技術ならびに関連分野の発展への貢献」
 - ・研究奨励賞
 - 受賞者：(社)日本地すべり学会 新潟支部
 - 受賞功績：「中越地震の地すべり災害に関する一連の調査研究活動と成果」

7. 企画委員会

- (1) 会費検討企画委員会
 - これまで継続的に会誌の発行原価の削減や会議の旅費請求の自粛などの、原価削減を行った。国際会員の拡大を進め、5割ほどの会員増をもたらした。引き続き

国際会員拡大策を積極的に進める。会費の改定について、資料を作成し検討した。

(2) 会勢拡大企画委員会

書籍販売について地盤工学会との間で相互に書籍販売に協力する体制を確立した。東北支部での「災害時における調査の相互協力に関する協定」の締結に引き続き関東支部でも同様の協定締結にこぎ着けた。また、今後、当学会の活動を社会にアピールすべく一般・学生向けビジュアルな資料作成を検討していく。

(3) 新公益法人対応企画委員会

平成20年度12月からの新公益法人制度施行に向けて、定款、会計基準見直しの検討に着手した。

(4) 出版事業企画委員会

「20年度からの発効を目標とし、「出版規則案」及び「運営要領案」を作成した。

(5) 情報公開

一般向け及び英語版HPの検討を継続した。

8. 各支部の行事

(1) 北海道支部

支部総会：平成19年4月27日(金)

札幌市(北海道大学学術交流会館)にて開催

特別講演会：同上の日程で特別講演会開催

『硬岩地域の地すべりのはじまり

：岩盤クリ-プ型と地震性ノンテクトニック断層型』

講師 高知大学理学部 応用理学科 横山 俊治 教授

『北海道開発における建設資料について

- 問題としてとりあげてみると - 』

講師 菱川研究所 菱川幸雄 氏

研究発表会：同上の日程で研究発表会開催

発表件数は10件

ホームページ運営：平成20年2月に更新完了

現地検討会：平成19年9月3日(月)~4日(火)に開催

テ-マ：日高支庁2006年豪雨斜面災害・京極水力発電所

技術講習会：平成20年4月10日(木)札幌市(自治労会館)にて開催

テ-マ：現場で役に立つ地すべり調査事例の紹介

支部運営委員会：第1回 平成19年7月19日(木)に開催

: 第 2 回 平成 2 0 年 2 月 2 9 日 (金) に開催

(2) 東北支部

支部総会

平成 19 年 6 月 1 日(金)、東北学院大学土樋キャンパス「押川記念ホール」において、114 名の参加をもとに開催。総会后、仙台市内の仙台国際ホテルで意見交換を実施(参加者約 40 名)。

シンポジウム(東北地理学会と共催)

平成 19 年 6 月 1 日(金)、東北学院大学土樋キャンパス「押川記念ホール」において、「地すべりとの共生を考える - 地すべり地の環境理解とその付き合い方を探る」をテーマとした共催シンポジウムを開催。[応用地生態学から見た地すべりと環境の共生]題する(株)環境地質・稲垣 秀輝氏の基調講演、また話題提供 3 件が報告され、その後討論会を実施。

緊急調査チーム派遣

平成 19 年 7 月 15 日に発生した追久保地すべり(宮城県白石市内)に緊急調査チームを派遣(同月 29 日)。地すべり学会誌 第 44 巻 3 号(2007 年 9 月号)にニュース文として掲載。現在、調査結果の詳細をまとめ、学会誌報告文に投稿中(査読終了済み)。

第 1 回幹事会

平成 19 年 9 月 22 日に東北工業大学一番町^北で開催。現地検討会の実施内容を審議。

現地検討会

平成 19 年 10 月 11 日(木)、12 日(金)の二日間にわたって、宮城県白石市小原温泉及び追久保地すべり地で開催。参加者 43 名。

応用地形学講習会(応用地質学会東北支部と共催)

平成 19 年 11 月 16 日(金)、仙台市内のエルパーク仙台において、「応用地形学講習会」を開催。参加者は関東、新潟、北海道からの参加者もあり、129 名に達した。地すべり形判読技術の基礎・応用知識、最新情報などを事例に基づき 6 名が講演。

支部だより発行

支部だより Vol.21 を平成 19 年 12 月 22 日発刊。トピックスとして、東北地方整備局との「災害時調査の相互協力協定」締結などに関する記事を掲載。350 部発送。

第 2 回幹事会

平成 20 年 1 月 25 日に東北工業大学一番町^北で開催。第 1 回運営委員会議

案について審議。

第1回運営委員会

平成20年3月11日に東北工業大学一番町ビルで開催。平成20年度支部総会議案について審議。

2008年国際会議（仙台開催）

（社）日本地すべり学会主催、2008 国際会議「アジア太平洋地域におけるランドスライドハザードとその管理」へ向け、所管官庁の協力を得ながら、東北地方の地すべりとその対策などを紹介する冊子「東北の地すべり」（仮称）を作成中。和文原稿（執筆者11名）はおおよそ完成し、査読中。今後、英文への翻訳作業に入る予定。

研究活動

- 1) 地すべり地形危険度判定評価手法の応用とGISデータベース化に関する研究委員会
2004 新潟県中越地震の斜面災害に関して、地形分類図の最終版が完成。目下、レーザーデータと空中写真判読結果との位置的なズレの解消に課題が残る。
- 2) 大規模地すべりの変遷過程と発生機構に関する研究委員会
平成19年4月27日、仙台市内で第3回打合せと第2回研究発表会を実施。
11月3日、4日の二日間、一ツ峯沢地すべり（新潟県内）の現地調査を実施。

（3）新潟支部

支部総会

開催日：平成19年5月18日（金）

場 所：新潟ユニゾンプラザ（新潟市上所2-2-2）

第35回 地すべりシンポジウム

主 催：（社）日本地すべり学会 新潟支部

共 催：（社）地盤工学会 北陸支部

後 援：新潟県，（社）新潟県地質調査業協会，（社）斜面防災対策技術協会新潟県支部

開催日：平成19年5月18日（金）

場 所：新潟ユニゾンプラザ（新潟市上所2-2-2）

テーマ：「新潟県中越地震と地すべり - その5 順調に進む被災地の地すべり対策 - 」

特別講演

八木浩司（山形大学地域教育文化学部 教授）

「中山間地における地震斜面災害 - 新潟中越地震とパキスタン北部地震の例 - 」

研究発表，5 編

澤井公一・大曾根啓介

「道路盛土の災害復旧に向けての計測管理事例」

神保 啓・松田 隆・伊藤克己・伊藤 聡

「中越地震により発生した浦柄地区地すべりの対策工」

百瀬 敦・佐々木健司・高木英一

「新潟県中越地震で発生した塩谷神沢川地すべりの発生機構とその対策」

山本一富・高峰正俊・中川登志彦・安井和也・横山久平・堀川滋雄・森山哲朗・田村憲孝・瀬戸康志・五十嵐敏幸

「妙見・岩盤崩壊箇所における調査及び対策工設計について」

南雲克彦

「新潟県中越地震によって芋川流域で発生した土砂災害への対応」

参加者：シンポジウム 119 名，意見交換会：52 名

新潟県中越沖地震での調査団の派遣

平成 19 年 7 月 16 日発生した新潟県中越沖地震では，本部からの要請に基づき，支部で調査団を組織し，緊急調査を行った。調査結果を取り纏め学会誌へ投稿した（2007 年 9 月発行の学会誌 179 号に掲載）。

研究奨励賞の受賞

支部の中越地震に関するこれまでの一連の研究調査活動と成果が評価され，「平成 19 年度地すべり学会研究奨励賞」を受賞した。

第 35 回 地すべり現地検討会

主 催：(社)日本地すべり学会 新潟支部

共 催：(社)地盤工学会 北陸支部

後 援：新潟県，(社)新潟県地質調査業協会，(社)斜面防災策技術協会新潟県支部

開催日：平成 19 年 9 月 28 日（金）

見学地：新潟県小千谷市西吉谷「迹入地すべり」

案内者：新潟県長岡地域振興局農林振興部，株式会社興和

検討会場：川口町交流体験館「杜のかたらい」(川口町大字中山 2536-12)

テーマ：「新潟県中越地震と地すべり - その 6 現地検討会「逃入地すべり」

- 」

参加者：75 名

「新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版」の出版

2007 年版：平成 19 年 5 月 18 日出版

2008 年版：平成 19 年に発生した地すべり災害記録を追加し，平成 20 年 5 月
23 日

出版予定

「新潟県地すべり災害記録」の出版

新潟県内で過去に発生した地すべり災害の実態を記録・総括するとともに，
県内で先駆的に取り組まれてきた地すべり対策の実施経過を様々な角度から
記録・総括。平成 20 年 5 月 23 日出版予定。

新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動，行事，出版物等の情報を発信。

URL <http://www.landslide-niigata.org>

会議記録

役員会：第 1 回 平成 19 年 8 月 24 日 13 名出席

：第 2 回 平成 19 年 12 月 21 日 16 名出席

：第 3 回 平成 20 年 4 月 25 日 (予定)

幹事会：第 1 回 平成 19 年 6 月 22 日 12 名出席

：第 2 回 平成 19 年 9 月 21 日 13 名出席

：第 3 回 平成 20 年 2 月 15 日 11 名出席

：第 4 回 平成 20 年 4 月 4 日 15 名出席

編集委員会：第 1 回 平成 19 年 10 月 12 日 10 名出席

：第 2 回 平成 19 年 12 月 26 日 12 名出席

：第 3 回 平成 20 年 2 月 1 日 9 名出席

：第 4 回 平成 20 年 4 月 4 日 15 名出席

(4) 関東支部

平成19年度(社)日本地すべり学会関東支部総会・シンポジウム・意見交換会

開催日時：平成19年6月1日

開催場所：東京大学工学部武田先端知ホール

参加者：シンポジウム：59名，意見交換会：34名

・講演：「市民レベルの斜面崩壊警報システム」

東畑郁生 東京大学大学院工学部社会基盤学専攻教授

・講演：「都市域における既設造成盛土宅地の地震時安定性」

安田進 東京電機大学理工学部建設環境工学科教授

地すべり災害技術に関する日中シンポジウムおよび現地見学会

・地すべり災害技術に関する日中シンポジウム

主催：(社)日本地すべり学会関東支部，中国地質学会

場所：埼玉県さいたま市浦和区 埼玉会館

日時：平成19年4月24日

参加者：中国側44名，日本側20名

・現地見学会

主催：(社)日本地すべり学会関東支部，中国地質学会

後援：(社)日本地すべり学会新潟支部

場所：中越地震災害現場（新潟県長岡市山古志地区）

火山性地すべり災害現場（群馬県万座地区）

日時：平成19年4月25日

参加者：中国側42名，日本側14名

(社)日本地すべり学会関東支部 現地検討会

「平成19年台風9号により群馬県甘楽町で発生した地すべり」

開催日時：平成19年11月16日

参加者：39名

支部会員発信のニューズレターの発行

1 平成19年4月5日

2 平成19年11月下旬

3 平成20年3月8日

会議記録

運営委員会

第1回 平成19年5月15日 出席者：9名(場所 日本工営(株)本社会議室)

第2回 平成20年3月24日 出席者：9名(場所 日本工営(株)本社会議室)

幹事会

- 第1回 平成19年5月15日 出席者：18名(場所 日本工営(株)本社会議室)
 - 第2回 平成19年7月13日 出席者：19名(場所(社)地盤工学会 会議室)
 - 第3回 平成19年7月26日 出席者：10名(場所 国土防災技術(株)浦和)
 - 第4回 平成19年8月21日 出席者：19名(場所 日本工営(株) 本社会議室)
 - 第5回 平成19年11月8日 出席者：12名(場所 群馬県庁 会議室)
 - 第6回 平成19年11月16日 出席者：14名(場所(財)林コン試験研究所)
 - 第7回 平成19年12月5日 出席者：11名(場所 日本工営(株) 本社会議室)
 - 第8回 平成20年2月5日 出席者：18名(場所 神奈川県立博物館 研修室)
 - 第9回 平成20年3月24日 出席者：11名(場所 日本工営(株)本社会議室)
- 第47回研究発表会関連

会議記録

準備会

- 第1回 平成19年7月13日 出席者：19名(場所(社)地盤工学会 会議室)
- 第2回 平成19年7月26日 出席者：10名(場所 国土防災技術(株)浦和)
- 第3回 平成19年8月21日 出席者：19名(場所 日本工営(株) 本社会議室)
- 第4回 平成19年11月30日 出席者：7名(場所 日本地すべり学会本部)

実行委員会

- 第1回 平成19年12月13日 出席者：11名(場所 神奈川県自治会館 会議室)

幹事会

- 第1回 平成19年12月13日 出席者：11名(場所 神奈川県自治会館 会議室)
- 第2回 平成20年2月5日 出席者：18名(場所 神奈川県立博物館 研修室)

作業部会

- 第1回 平成20年2月20日 出席者：30名(場所 アジア航測株式会社 本社会議室)

(5) 中部支部

中部支部総会

日時：平成19年5月18日(金)

場所：長野市サンパルテ山王

特別講演会

日 時：平成 19 年 5 月 18 日（金）

場 所：長野市サンパルテ山王

参加者：64 名

演 題：「土石流と伝承 身近な防災のために - 」

信州大学人文学部教授； 笹本 正治氏

長野県土木部地すべり技術指針(案)講習会

日 時：平成 19 年 7 月 27 日（金）

場 所：アルウィン（信州スカイパーク）

参加者：90 名

・ 基調講演 演題「災害時の危機管理について」

国土交通省松本砂防事務所所長 植野 利康氏

・ 技術指針講習

1 章 地すべりの定義と県内の地すべり	内藤 哲
2 章 地すべり調査	土屋 好幸
3 章 地すべり機構解析	小野 和行
4 章 地すべり防止計画の基本と安定解析	斎藤 彰朗
5 章 地すべり防止施設的设计	大場勝一郎
6 章 突発的地すべりへの対応	内田 克
7 章 概成の定義と概成調書の作成	小野 和行
8 章 維持管理方針と跡地利用	斎藤 彰朗

善光寺地震から 160 年シンポジウム

「地震による土砂災害の教訓を継承し、現代に活かす」

日 時：平成 19 年 9 月 6 日（木）

場 所：長野県県民文化会館

参加者：1,000 名

- ・ 「災害教訓の継承に関する専門調査会」善光寺地震分科会報告会
- ・ 学習発表会 ；長野市立湯谷小学校 6 年生、中条村立中条小学校 6 年生
- ・ パネルディスカッション 「大規模地震と土砂災害」

コーディネーター；山田美也子氏

パネリスト ；

(財)砂防フロンティア整備推進機構

井上 公夫氏

NPO 法人防災情報機構

伊藤 和明氏

信州大学名誉教授

北澤 秋司氏

新潟大学 教授
長野県信州新町町長

丸井 英明氏
中村 靖氏
中野 泰雄氏

コメンテーター ; 国土交通省砂防部

現地検討会

日 時 : 平成 19 年 9 月 13 日 (木) ~ 9 月 14 日 (金)

見学地 : 「由比地区地すべり」 (静岡県由比町)

参加者 : 46 名

案内者 : 土屋 智副支部長, 富士砂防事務所

検討会 : 由比町町民センター

座長 : 土屋 智副支部長

・中部支部シンポジウム 「地すべり災害とその後の対応」

日 時 : 平成 20 年 2 月 5 日 (火)

場 所 : ホテルメトロポリタン長野

参加者 : 155 名

・ 基調講演 「地すべり防止対策の現状と今後の課題」

元 (社) 日本地すべり学会 会長 藤田壽雄

・ 話題提供

平成 19 年の全国の地すべりについて ~主な地すべり災害について~

国土交通省砂防部保全課 綱川浩章

・ 事例紹介

静岡県 滝沢地すべり 静岡県建設部河川砂防局砂防室 加藤文敏

富山県 氷見地すべり 富山県氷見土木事務所 高嶋 康

石川県 福水地すべり 石川県中能登土木総合事務所 吉野章克

三重県 領内地すべり 三重県県土整備部河川・砂防室 東 修之

長野県 駒込地すべり 長野県佐久建設事務所 鈴木知之

中部支部ニュース 発行

日 時 : 平成 20 年 3 月 31 日 (月)

(6) 関西支部

第 1 回運営委員会

日 時 : 平成 19 年 4 月 4 日 13:30 ~ 16:00

場 所 : 京都大学防災研究所巨大災害研究センター会議室

関西支部シンポジウム「地すべりの防災・減災におけるアウトリーチ」

日 時 : 平成 19 年 6 月 6 日 10:00 ~ 17:00

会 場：大阪建設交流館 8 階グリーンホール

主 催：(社)日本地すべり学会関西支部

後 援：(社)砂防学会・(社)地盤工学会関西支部

・ 特別講演「防災専門家もアウトリーチの時代」

(財)砂防地すべり技術センター 池谷 浩

・ 話題提供

「中越地震による地すべり多発災害における官学連携」

新潟大学 災害復興科学センター 丸井 英明

「復興報道の社会学～ローカル復興を全国制度へ」

関西学院大学災害復興制度研究所 山中 茂樹

「住民参加型防災活動の現状と課題」

岩手県立大学 総合政策学部 牛山 素行

「減災と市民活動～阪神・淡路大震災から 12 年目を迎えて」

大阪大学コミュニケーションデザインセンター 菅 磨志保

「インターネットと防災アウトリーチ活動」

アジア航測株式会社 技術統括部 千葉 達郎

・ パネルディスカッション

関西支部総会 平成 19 年 6 月 6 日 11:40～12:10 於：大阪建設交流館 8 階グリーンホール

関西支部講習会「空中写真による地すべり地形の判読」

講 師：井上 公夫(財団法人 砂防フロンティア整備推進機構)

日 時：平成 19 年 10 月 19 日(金) 10:30～16:00

会 場：京都大学防災研究所 2 階 D 1219 室(京都府宇治市五ヶ庄)

関西支部現地討論会「広島における地すべり・土石流の起きる環境とその対策」

開催日：平成 19 年 10 月 24・25 日

見学地：広島県廿日市市宮島町白糸川の土石流災害現地

広島市佐伯区湯来町志井の地すべり災害現地

主 催：(社)日本地すべり学会関西支部

後 援：(社)砂防学会・(社)地盤工学会中国支部・日本応用地質学会中国四国支部・国土交通省中国地方整備局・広島県

・ 特別講演「崩壊する斜面と崩壊しない斜面の違いはなにか? - 地質鉱物学的見地からの一考察 -」

広島大学大学院理学研究科 北川隆司

・ 話題提供

「宮島白糸川での土石流災害とその対策」

広島県砂防室 草野慎一

「近年の広島周辺での土砂災害発生豪雨の特徴」

復建調査設計(株) 中井真司

広島大学大学院総合科学研究科 海堀正博

「志井地区地すべり災害の地質特性とその対策」

(株)エイトコンサルタント 高田正治・藤岡隆則・山村忠伸

「広島西部山系直轄砂防事業の展開」

国土交通省太田川河川事務所 水野雅光

・ パネルディスカッション

第2回運営委員会

日時：平成19年11月7日 13:30～16:00

会場：京都大学化学研究所ゼミナール室D1103

会誌発行：“らんどすらいど” No.23 発行

・ 巻頭言 安全性とともにさらに求められているもの

海堀正博（広島大学）

・ 防災専門家もアウトリーチの時代

池谷 浩（(財)砂防・地すべり技術センター）

・ 志井地区地すべり災害の特質特性とその対策

高田正治・藤岡隆則・山村忠伸（(株)エイトコンサルタント）

・ 三波川結晶片岩地すべりの代表例としての善徳地すべりの変動特性と地質（すべり面）との関連性について

守随治雄（日本工営株式会社）

（7）九州支部

第1回 幹事会

日時：平成19年6月7日 会場：別府市 ビーコンプラザ

平成19年度支部総会・学術講演会

日時：平成19年6月7日 会場：別府市 ビーコンプラザ（参加者：178名）

主催：(社)日本地すべり学会九州支部

共催：(社)斜面防災対策技術協会九州支部

後援：大分県土木建築部砂防課

・特別講演：「地すべり斜面の危険度評価」

琉球大学農学部 宜保清一

・一般講演

2006 台風 13 号に伴う豪雨により発生した大規模地すべりの機構と対策工設計

日本工営(株) 中西敏夫

日本工営(株) 原 龍一

日本工営(株) 浦 元啓

西彼杵半島西部における降雨と地すべり対策の一例

(株)カミナガ 阿南朋和

近年の山口県の豪雨時における斜面崩壊の特徴

常盤地下工業(株) 瀬原洋一

常盤地下工業(株) 鶴田和成

山口大学工学部 山本哲朗

山口大学工学部 鈴木素之

山口大学名誉教授 西村祐二郎

地下水位の長期観測から見た地すべり地区の安定性

西日本工業大学名誉教授 玉田文吾

西日本工業大学工学部 福田順二

常盤地下工業(株) 鶴田和成

法面施工中に生じた変状とその対策工事例

東邦地下工機(株) 江藤大

地すべり地帯に設置した箱型擁壁

箱型擁壁協会 小辻広志

地すべりのすべり面平均強度定数推定の試み

琉球大学農学部 中村真也

琉球大学農学部 宜保清一

琉球大学大学院 木村匠

島尻層群泥岩分布地域の地すべり土の物理的・鉱物学的性質と残留強度

琉球大学農学部 中村真也

琉球大学農学部 宜保清一

藤永地建(株) 山下友美

沖縄，安里地すべりの発生について

琉球大学農学部 中村真也

琉球大学農学部 宜保清一

琉球大学大学院 木村 匠
地蔵峠小田原線の切土における斜面の地下水排除工法
松本技術コンサルタント(株) 高松 誠一郎
山中地区における地すべり発生時の降雨と地下水位について
日本地研(株) 冷川 久敏
大分県土木建築部砂防課 林 久人
大分県別府土木事務所河港砂防課 津野 一也

・ 普及講演会

「地球温暖化時代における防災の知恵」

長崎大学大学院教授 後藤 惠之輔

現地見学会

日時:平成 19 年 6 月 8 日 大分県別府市内(参加者:35 名)

平成 19 年度支部研究活動報告会

日時:平成 19 年 11 月 12 日 会場:沖縄県宜野湾市

主催:(社)日本地すべり学会九州支部

共催:沖縄県測量建設コンサルタンツ協会

共催:琉球大学某学部農地・防災工学研究室